

設 立 趣 旨 書

私たちの地域を取り巻く環境は、少子高齢化による人口減少や住民ニーズの多様化、価値観の変化などを背景に、その状況が大きく変化しています。

少子化による子どものスポーツ種目の選択肢の減少、高齢化による高齢者の孤独化やコミュニケーションの希薄化による地域力の低下、運動不足からくる運動能力や基礎体力の低下など、様々な課題を抱えながらライフスタイルや価値観の多様化が進んでいます。

私たちはこの地域において、地域住民の要望を受け、昭和56年4月にボランティアによる少年少女のサッカーチーム「I・Oキッカーズ」を立ち上げました。地域に根ざしたチームを目指し、会員保護者と一緒に地域関係者の協力も得ながら、創設から42年間、任意団体として、サッカーを通じたスポーツの振興及び子どもの健全育成を着実に図ってきました。この間、チームとしては、横須賀サッカー協会、神奈川県サッカー協会に登録して様々な大会に参加するとともに当チーム主催の大会を各学年別に開催するなど、積極的に他のチームや関係者と交流することで、スポーツ普及の場を着実に広げているところです。

しかしながら、少子高齢化による人口減少等の影響は深刻で、私たちの活動においても会員の減少など様々な支障が生じ始めている状況であり、現在の任意団体としての活動では限界も感じているところです。この様な課題は、私たち以外の他種目、他世代の団体においても少なからず同様の状況にあるのではないかと考えています。

そこで、この度、私たちはこれまでの少年少女サッカーチームの活動で培った組織運営、事業運営のノウハウを基に、非営利のNPO法人格を取得することにより、法に基づく法人運営、情報公開を適切に行うことで、さらなる社会的信頼を獲得し、より地域に根ざして安定・継続した活動を行うため、特定非営利活動法人横須賀IOMスポーツクラブを設立することといたしました。

私たちはNPO法人取得後も、横須賀市岩戸・大矢部・森崎地区において、これまでのボランティアによる任意団体としての活動を踏襲し、誰もが生涯を通じてサッカーをはじめとする様々なスポーツをする機会とたくさんの人々と触れ合うことができる場所を作ることで、地域のスポーツの振興、子どもの健全育成及び社会教育の推進を図り、ひいては地域コミュニティの活性化や地域課題の解決に貢献していく所存です。

令和5年3月19日

法人の名称 特定非営利活動法人 横須賀IOMスポーツクラブ

設立代表者 中屋 昌紀